

# 1 総会に関する事項

令和元. 5. 27 午後2時から国立新美術館講堂において第83回定時総会を開催し、下記の事項を決定した。

- 審議事項
- 第1号議案 平成30年度事業報告承認の件
  - 第2号議案 平成30年度決算承認の件
  - 第3号議案 平成31（2019）年度事業計画書報告の件
  - 第4号議案 平成31（2019）年度収支予算書等報告の件
  - 第5号議案 役員報酬規程の一部変更承認の件
  - 第6号議案 会員人事報告の件
  - 第7号議案 理事の補充承認の件
- 報告事項
- 日展規則の一部変更報告の件
  - 令和元年度 称号授与予定者報告の件
  - 改組 新 第5回日展巡回展開催報告の件 他

# 2 理事会に関する事項

| 月 日         | 回 数 | 主 な 審 議 事 項  |
|-------------|-----|--|
| 令和元. 5. 10  | 第1回 | 1. 平成30年度・事業報告及び決算承認の件<br>2. 理事の補充の件<br>3. 令和元年度 特別会員称号授与予定者承認の件<br>4. 改組 新 第6回日展 開催要綱承認の件<br>5. 改組 新 第6回日展 審査員候補者推薦委員会の委員承認の件<br>6. 各委員会（日展ニュース・出版・広報）の新委員承認の件<br>7. その他<br>会員・会友資格喪失者承認の件<br>報告事項<br>理事長、副理事長の職務執行状況について<br>退会者及び会友辞退者について |
| 令和元. 7. 25  | 第2回 | 1. 改組 新 第6回日展審査員・係承認の件<br>2. 会友規則の一部変更案承認の件<br>会友の資格取得要件の緩和について<br>報告事項<br>改組 新 第6回日展審査員総会日程について<br>準会員・会友名簿の作成（発行）中止について<br>退会者及び会友辞退者について 他  |
| 令和元. 10. 31 | 第3回 | 報告事項<br>理事長、副理事長の職務執行状況について<br>退会者及び会友辞退者について 他<br>1. 改組 新 第6回日展巡回展基本選定作品承認の件<br>2. 改組 新 第6回日展巡回展陳列指導者の選考承認の件  |

|             |     |   |
|-------------|-----|---|
| 令和 2. 3. 25 | 第4回 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 改組 新 第7回日展 関連事項承認の件<br/> 改組 新 第7回日展 会期・覧時間及び入場料金について<br/> 改組 新 第7回日展 出品手数料について<br/> 改組 新 第7回日展オープニング・パーティについて<br/> 改組 新 第7回日展巡回日程(案)について</li> <li>2. 会員人事承認の件</li> <li>3. 準会員人事承認の件</li> <li>4. 会友人事承認の件</li> <li>5. 令和2年度事業計画書(案)及び収支予算書(案)等承認の件</li> <li>6. 定時総会日程及び予定議題承認の件</li> <li>7. 改組 新 第7回日展の「日本博」参画プロジェクト認証の件<br/> 報告事項<br/> 和光「第4回 美の魁け一日展の現代―」展について<br/> 日展新会館について</li> </ol> |
|-------------|-----|---|

### 3 監事会に関する事項

| 月 日        | 回 数 | 主 な 審 議 事 項            |
|------------|-----|------------------------|
| 令和元. 5. 10 | 第1回 | 1. 平成30年度事業報告および決算承認の件 |

### 4 審査員候補者推薦委員会に関する事項

| 月 日        | 回 数 | 主 な 審 議 事 項      |
|------------|-----|------------------|
| 令和元. 7. 12 | 第1回 | 1. 審査員候補者の選考承認の件 |

### 5 係(展覧会)会に関する事項

| 月 日       | 回 数 | 主 な 審 議 事 項  |
|-----------|-----|--|
| 令和元. 8. 8 | 第1回 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 展示室各科割り振りに関する件</li> <li>2. 入場料金に関する件</li> <li>3. 特別入場券販売促進に関する件</li> <li>4. 「日展目録」表紙承認の件</li> <li>5. 入場券および招待状等印刷物承認の件</li> <li>6. 各科審査員打合せ会承認の件</li> <li>7. 係アシスト承認の件</li> <li>8. 出品者懇親会承認の件</li> </ol> |

|  |  |  |
|--|--|--|
|  |  | 9. 事務日程に関する件<br>10. 各科展覧会の記録に関する件<br>11. その他 |
|--|--|--|

## 6 審査員総会に関する事項

| 月 日        | 回 数 | 主 な 審 議 事 項  |
|------------|-----|--|
| 令和元. 10. 3 | 第1回 | 1. 各科審査主任発表の件<br>2. 日展審査員行動基準（ガイドライン）等の確認、審査方針承認の件 他 |

## 7 大臣賞選考委員会に関する事項

| 月 日         | 回 数 | 主 な 審 議 事 項                  |
|-------------|-----|------------------------------|
| 令和元. 10. 31 | 第1回 | 1. 内閣総理大臣賞の件<br>2. 文部科学大臣賞の件 |

## 8 東京都知事賞選考委員会に関する事項

| 月 日         | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|-------------|-----|-------------|
| 令和元. 10. 31 | 第1回 | 1. 東京都知事賞の件 |

## 9 日展会員賞選考委員会に関する事項

| 月 日         | 回 数 | 主 な 審 議 事 項 |
|-------------|-----|-------------|
| 令和元. 10. 31 | 第1回 | 1. 日展会員賞の件  |

## 10 委員会等に関する事項

### 諮問委員会

令和元年度における会合は1回開催

(第1回) 令元. 12. 4

主な審議事項

1. 改組 新 第6回日展の応募状況・審査結果等について、事務局より委員に説明後、意見交換を行った。(第1回)
2. 公募展の今後の課題と対応策について、事務局より現況等を説明し、意見交換を行った。(第1回)

### 日展運営委員会

令和元年度における会合は3回開催

(第1回) 平31. 4. 23・(第2回) 令元. 7. 12・(第3回) 令2. 2. 28

主な審議事項

1. 平成30年度事業報告及び決算関連事項について協議、検討した。(第1回)
2. 改組 新 第6回日展開催要綱(案)について検討した。(第1回)
3. 日展会友制度の改定について協議、検討を行い、会友資格取得の要件を全科一律「入選8回」とすることを委員会案として理事会に諮ることを確認した。(第2回)
4. 日展新会館の利活用等について意見交換を行った。(第2回)
5. これからの巡回展のあり方について意見交換を行った。(第2回)
6. 理事会に諮る令和2年度日展事業予算案について協議、検討した。(第3回)
7. 改組 新 第7回日展の「日本博」参画プロジェクト認証について協議、検討した。(第3回)

### 日展ニュース委員会

令和元年度における会合は5回開催

(第1回) 令元. 5. 27・(第2回) 6. 3・(第3回) 8. 27・(第4回) 11. 15・(第5回) 12. 20

主な審議事項

1. ニュース172号の寄稿文(各科地方在住入選者1名 計5名/「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ)/「作家人生-私の仕事-」シリーズ/新会員のコメント)の校正を行った。(第1回)
2. ニュース172号の掲載内容を検討、決定した。(第1回)
3. 新旧委員の合同会議を開催し、経過報告、引継ぎ及び今年度の編集方針を協議した。(第2回)
4. ニュース172号の進捗状況について報告した。(第2回)
5. ニュース173号の掲載内容を検討し、座談会テーマについて決定した。(第2回)
6. ニュース173号の寄稿文(各科ベテラン審査員・新審査員3名 計15名/「作家人生-私の仕事-」シリーズ 等)の校正を行った。(第3回)
7. ニュース173号の掲載内容を検討、決定した。(第3回)
8. ニュース174号の掲載内容を検討し、座談会テーマの確認、構成・出席者の人選等を検討した。(第3回)
9. ニュース174号の座談会の進行方法や質問事項を検討した。(第4回)
10. ニュース174号の座談会を開催した。(第4回)
11. ニュース174号(座談会)の校正を行った。(第5回)

12. ニュース174号の寄稿文(各科新入選者3～6名 計15名 / 「日展ゆかりの美術館散策」シリーズ、「教えて、作家さん！」)等の校正を行った。(第5回)
13. ニュース174号の掲載内容を検討、決定した。(第5回)
14. ニュース175号の掲載内容を検討、協議した。(第5回)

## 出版委員会

令和元年度における会合は4回開催

(第1回) 令元. 6. 3 ・ (第2回) 7. 25 ・ (第3回) 8. 23 ・ (第4回) 10. 31

主な審議事項

1. 新旧委員の引継を行った。(第1回)
2. オンデマンド印刷の絵はがきについて意見交換を行った。(第1回)
3. 「日展作品集」の判型・内容等について意見交換を行った。(第2回)
4. 前回「日展作品集」の巻末資料として掲載した作品解説・釈文(書)は、今回から別冊資料に変更することを決定した。(第3回)
5. 改組 新 第6回日展刊行物の内容、発注業者、仕入・販売価格、印刷部数等を決定した。(第3回)
6. オンデマンド印刷の絵はがきについて注文方法等の詳細を決定した。(第3回)
7. 「日展作品集」の初版について、色校正・レイアウト確認を行った。(第4回)
8. 「日展図録(日)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第4回)
9. 「日展図録(洋)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第4回)
10. 「日展図録(彫)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第4回)
11. 「日展図録(工)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第4回)
12. 「日展図録(書)」の色校正・レイアウト確認を行った。(第4回)

## 広報委員会

令和元年度における会合は4回開催

(第1回) 平31. 4. 23 ・ (第2回) 令和元6. 3 ・ (第3回) 9. 19 ・ (第4回) 令和2. 2. 28

主な審議事項

1. 改組 新 第6回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第1回)
2. 日展作家インタビューの人選、内容について検討した。(第1回)
3. 各種ポスターの色、レイアウトを検討した。(第1回・第2回)
4. オープニング・パーティーの実施内容を検討した。(第1回・第2回)
5. 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等について検討した。(第1回・第2回)
6. 特別講演について検討した。(第1回・第2回)
7. 新旧委員の合同会議を開催、前年度広報活動報告の後、改組 新 第6回日展告知キャンペーンの基本方針を確認、実施内容を検討した。(第2回)
8. 特別入場券の販売促進計画を承認した。(第2回)
9. 改組 新 第6回日展告知キャンペーンの進行状況を確認した。(第2回・第3回)
10. 改組 新 第6回日展のイベント企画案について検討した。(第2回・第3回)
11. オープニング・パーティーの会場を下見し、実施内容の細部打合せをした。(第3回)
12. 令和元年度の広報活動(告知キャンペーンを含む)の実施内容および実績について報告、問題点を検討した。(第4回)
13. 令和2年度の告知キャンペーンの基本方針について検討した。(第4回)

## アートプロジェクト

令和元年度における会合は1回開催

(第1回) 令2. 2. 20

主な審議事項

1. 令和元年度の反省点および要望事項をまとめ、令和2年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」、わくわくワークショップ、スクールプログラム等)を検討した。(第1回)
2. 令和2年度の実施内容(夏休み1日ART体験「Oneday Art」、わくわくワークショップ、スクールプログラム等)を検討した。(第1回)
3. 2020年の夏休み1日ART体験「Oneday Art」の実施について検討した。

アートプロジェクトの令和2年5月15日現在のメンバーは下記の通り。

[アートプロジェクト]

|      |      |      |       |      |      |
|------|------|------|-------|------|------|
| 岩田壮平 | 亀山祐介 | 川田恭子 | 能島浜江  | 米谷清和 | 大友義博 |
| 桑原富一 | 佐藤祐治 | 田辺知治 | 星川登美子 | 田中里奈 | 中島健太 |
| 山田朝彦 | 石黒光二 | 中原篤徳 | 野原昌代  | 堀内秀雄 | 山崎茂樹 |
| 相武常雄 | 青木宏憧 | 月岡裕二 | 林香君   | 福富信  | 井上清雅 |
| 師田久子 | 高木厚人 | 高木聖雨 | 永守蒼穹  |      |      |

# 11 「日本美術展覧会」の開催

## 改組 新 第6回日本美術展覧会

1. 会 期 令和元年11月1日より11月24日まで 21日間

〔休 館 日〕 毎週火曜日

〔観覧時間〕 午前10時～午後6時(入場は午後5時30分まで)

11月15日(金)は「日展の日」 入場無料

2. 会 場 国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)

3. 応募点数並びに入選点数

( ) 前年度比

|       | 第1科<br>日本画   | 第2科<br>洋画      | 第3科<br>彫刻    | 第4科<br>工芸美術  | 第5科<br>書        | 合計              |
|-------|--------------|----------------|--------------|--------------|-----------------|-----------------|
| 応募点数  | 393<br>(-44) | 1,677<br>(-74) | 108<br>(-11) | 648<br>(-60) | 8,682<br>(+139) | 11,508<br>(-50) |
| 入選点数  | 169<br>(+2)  | 528<br>(+3)    | 85<br>(-7)   | 423<br>(-6)  | 1,066<br>(+25)  | 2,271<br>(+17)  |
| 新入選点数 | 23<br>(-3)   | 64<br>(+27)    | 11<br>(±0)   | 32<br>(+3)   | 195<br>(-22)    | 325<br>(+5)     |

新入選点数は入選点数を含む。

4. 陳列点数

( ) 前年度比

|       | 第1科<br>日本画  | 第2科<br>洋画   | 第3科<br>彫刻   | 第4科<br>工芸美術 | 第5科<br>書       | 合計             |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|----------------|----------------|
| 入 選   | 169<br>(+2) | 528<br>(+3) | 85<br>(-7)  | 423<br>(-6) | 1,066<br>(+25) | 2,271<br>(+17) |
| 無 鑑 査 | 140<br>(+2) | 125<br>(+2) | 158<br>(+2) | 128<br>(-1) | 145<br>(-1)    | 696<br>(+4)    |
| 計     | 309<br>(+4) | 653<br>(+5) | 243<br>(-5) | 551<br>(-7) | 1,211<br>(+24) | 2,967<br>(+21) |

無鑑査＝顧問・役員・会員・準会員・前年度特選受賞者

5. 審査員および係

審査員長(理事長) 奥田小由女

◎印 審査主任

|     | 第1科<br>日本画  | 第2科<br>洋画   | 第3科<br>彫刻   | 第4科<br>工芸美術   | 第5科<br>書   |
|-----|---|---|---|---|--|
| 審査員 | 石丸 正運<br>原田 平作  | 笠井 誠一<br>瀧 梯三   | 木本 文平<br>守屋 正彦  | 福永 治<br>柳原 正樹   | 角井 博<br>島谷 弘幸  |
|     | ◎福田 千恵<br>芦田 裕昭<br>市原 義之<br>岸野 圭作<br>中村 徹<br>西田 真人<br>朝倉 隆文<br>鵜飼 雅樹<br>大豊 世紀<br>亀山 祐介<br>野田 夕希<br>能島 浜江<br>伊東 正次<br>稲田亜紀子<br>川嶋 涉<br>松浦 丈子 | ◎中山 忠彦<br>根岸 右司<br>池山 阿有<br>磯崎 俊光<br>斎藤 秀夫<br>寺久保文宣<br>菊池 元男<br>倉林愛二郎<br>栗原 高光<br>佐藤 祐治<br>西房 浩二<br>松下 久信<br>渡邊 明<br>大竹 正治<br>岡本 猛<br>西谷 之男<br>松野 行 | 能島 征二<br>◎山本 眞輔<br>勝野 眞言<br>嶋畑 貢<br>伊庭 靖二<br>九後 稔<br>中原 篤徳<br>成富 宏<br>野村 光雄<br>堀 龍太郎<br>榎野 仁一<br>山崎 茂樹<br>小関 良太<br>高野 眞吾<br>二塚佳永子<br>前芝 武史<br>宮坂 慎司 | ◎武腰 敏昭<br>三田村有純<br>大樋 年雄<br>河合 徳夫<br>佐治ヒロシ<br>志観寺範從<br>中村 武郎<br>久保 満義<br>桑原 紀子<br>小林 英夫<br>田中 紀子<br>橋本 昇三<br>山本 清<br>吉水 絹代<br>安藤タツ子<br>浅井 啓介<br>竹森 公男 | ◎黒田 賢一<br>高木 聖雨<br>真神 巍堂<br>石飛 博光<br>角元 正燦<br>日比野 実<br>牛窪 梧十<br>大澤 城山<br>田頭 一舟<br>福光 幽石<br>山本 高邨<br>吉澤 大淳<br>伊藤 仙游<br>河西 樸堂<br>新谷 泰鵬<br>野田 正行<br>吉澤 劉石 |

○印 係主任

|   | 第1科<br>日本画   | 第2科<br>洋画   | 第3科<br>彫刻   | 第4科<br>工芸美術   | 第5科<br>書  |
|---|--|---|---|---|---|
| 係 | 芦田 裕昭<br>市原 義之<br>岸野 圭作<br>中村 徹<br>◎西田 真人<br>朝倉 隆文<br>鵜飼 雅樹<br>大豊 世紀<br>亀山 祐介<br>野田 夕希<br>能島 浜江<br>伊東 正次<br>稲田亜紀子<br>川嶋 涉<br>松浦 丈子 | ○池山 阿有<br>磯崎 俊光<br>斎藤 秀夫<br>寺久保文宣<br>菊池 元男<br>倉林愛二郎<br>栗原 高光<br>佐藤 祐治<br>西房 浩二<br>松下 久信<br>渡邊 明<br>大竹 正治<br>岡本 猛<br>西谷 之男<br>松野 行 | 勝野 眞言<br>○嶋畑 貢<br>伊庭 靖二<br>九後 稔<br>中原 篤徳<br>成富 宏<br>野村 光雄<br>堀 龍太郎<br>榎野 仁一<br>山崎 茂樹<br>小関 良太<br>高野 眞吾<br>二塚佳永子<br>前芝 武史<br>宮坂 慎司 | ○大樋 年雄<br>河合 徳夫<br>佐治ヒロシ<br>志観寺範從<br>中村 武郎<br>久保 満義<br>桑原 紀子<br>小林 英夫<br>田中 紀子<br>橋本 昇三<br>山本 清<br>吉水 絹代<br>安藤タツ子<br>浅井 啓介<br>竹森 公男 | ○高木 聖雨<br>真神 巍堂<br>石飛 博光<br>角元 正燦<br>日比野 実<br>牛窪 梧十<br>大澤 城山<br>田頭 一舟<br>福光 幽石<br>山本 高邨<br>吉澤 大淳<br>伊藤 仙游<br>河西 樸堂<br>新谷 泰鵬<br>野田 正行<br>吉澤 劉石 |

6. 授賞

|        |       |              |   |               |
|--------|-------|--------------|---|---------------|
| 大臣賞    | 第1科   | 内閣総理大臣賞      | 山下 保子   | 追憶            |
|        | 第2科   | 内閣総理大臣賞      | 斎藤 秀夫   | 清新            |
|        | 第3科   | 文部科学大臣賞      | 勝野 眞言   | 瀬             |
|        | 第4科   | 文部科学大臣賞      | 井隼 慶人   | 積日惜夏          |
|        | 第5科   | 文部科学大臣賞      | 牛窪 梧十   | 岑参詩           |
| 東京都知事賞 | 第1科   | 中村 徹         | 海想  |               |
|        | 第2科   | 長谷川 仂        | 港の朝・曇る日   |               |
|        | 第3科   | 齋藤 尤鶴        | あおあらし   |               |
|        | 第4科   | 大樋 年雄        | Mesa Marley 「神光天地照」 Light of a god lights up a universe |               |
|        | 第5科   | 吉川美恵子        | 梅   |               |
| 日展会員賞  | 第1科   | 諸星 美喜        | おいて   |               |
|        | 第2科   | 平野 行雄        | 粟国島の民家  |               |
|        | 第3科   | 中原 篤徳        | ささやかな一日の終わりに  |               |
|        | 第4科   | 村田 好謙        | 風と光と水と  |               |
|        | 第5科   | 田中 徹夫        | ほのやみ  |               |
| 特選     |       |              |   |               |
| 第1科    | 鶴飼 義丈 | 共に歩む。        | 大矢 高弓   | ふるさと          |
|        | 北川由希恵 | 時を刻む蘇鉄       | 工藤 彩  | 春を待つ          |
|        | 城野奈英子 | 刻            | 竹内恵利子   | 白い鳩           |
|        | 土岐 佳子 | 海の記憶         | 野原都久馬   | 群像            |
|        | 平野 美加 | 水に咲く         | 三谷 佳典   | 内緒の手紙         |
| 第2科    | 阿部 良広 | 沈黙の地         | 飯塚 康弘   | 陽のあたる階段       |
|        | 茅野 吉孝 | 廃 船          | 鷺 悦太郎   | フロズン・タイム      |
|        | 佐渡 一清 | 歩            | 高田 啓介   | 北の踏切          |
|        | 遠山 厚史 | 天気雨のロンド      | 中土居正記   | 再生・Peace Bird |
|        | 松本 貴子 | 真夜中の魔法       | 柳澤 利光   | 自画像           |
| 第3科    | 伊藤 奏太 | 野風に戦ぐ        | 大亀 清壽   | 立ち行く          |
|        | 神山美登里 | 旨菜豊人         | 坂本 健  | 無辜の軀          |
|        | 高砂 晴光 | 踊るサテュロスの夢    | 寺澤 孝明   | リズム           |
|        | 長谷川倫子 | ひとひら         | 山本 将之   | 報恩感謝          |
|        | 横山 丈樹 | 対の月          | 脇園奈津江   | 道するべ〜春をさがしに〜  |
| 第4科    | 石田 満美 | 夜明け讃歌R-1     | 加藤 丈尋   | Waterfall     |
|        | 佐々木眞澄 | 遙かなる旅        | 武田 司  | 白露一玄鳥去る一      |
|        | 立松 功至 | Find U Again | 鶴見 晋史   | 瞬光            |
|        | 西本 直文 | 玄生「観」        | 福富 信  | 景一何処へ一        |
|        | 舟越 一生 | 耀 宙          | 森 克徳  | 流象            |
| 第5科    | 大田 鵬雨 | 山中坐          | 佐井 麗雪   | 霧             |
|        | 下伊豆博子 | 嵯峨山荘色紙和歌集二   | 中室 舟水   | 四季            |
|        | 奈良 衡齋 | 蛇化爲龍         | 西村 大輔   | 墨魂            |
|        | 萩野 展山 | 安 静          | 深瀬 裕之   | 名             |
|        | 宮負 丁香 | 張籍詩          | 山口 啓山   | 王漁洋詩          |

7. 入場者数 合計103,722人 (21日間)

( ) 前年度比

| 有 料                   | 入場者数(人)            | 無 料         | 入場者数(人)            |
|-----------------------|--------------------|-------------|--------------------|
| 一 般 券                 | 9,113<br>(+314)    | 招 待 券       | 43,234<br>(-886)   |
| 学 生 券                 | 533<br>(+141)      | 美 術 学 生 券   | 441<br>(-76)       |
| トワイライトチケット<br>( 一 般 ) | 2,311<br>(-665)    | 小中学生無料鑑賞券   | 4,551<br>(-283)    |
| トワイライトチケット<br>( 学 生 ) | 269<br>(+32)       | 資 格 証       | 20,325<br>(+1,686) |
| 一般券 (場外売)             | 71<br>(-31)        | 優 待 証       | 2,766<br>(+39)     |
| 学生券 (場外売)             | 3<br>(+3)          | 美術家連盟・評論家連盟 | 603<br>(+2)        |
| 一 般 団 体 券             | 1,733<br>(-1,508)  |             |                    |
| 学生団体[高・大]券            | 436<br>(+212)      |             |                    |
| 一 般 前 売 券             | 1,186<br>(-598)    |             |                    |
| 学生前売[高・大]券            | 28<br>(-9)         |             |                    |
| 特 別 入 場 券             | 13,664<br>(-683)   |             |                    |
| 新聞販売店用チケット            | 2,455<br>(-1,380)  |             |                    |
| 計                     | 31,802<br>(-4,172) | 計           | 71,920<br>(+482)   |

| 月日    | 曜日   | 入場者数(人) | 月日    | 曜日  | 入場者数(人)       |
|-------|------|---------|-------|-----|---------------|
| 10/31 | 木    | 3,909   | 11/13 | 水   | 4,137         |
| 11/1  | 金    | 5,829   | 11/14 | 木   | 4,057         |
| 11/2  | 土    | 3,495   | 11/15 | 金   | (日展の日) 10,360 |
| 11/3  | 日・祝  | 3,815   | 11/16 | 土   | 5,447         |
| 11/4  | 月・振休 | 3,316   | 11/17 | 日   | 6,375         |
| 11/5  | 火    | 休館日     | 11/18 | 月   | 4,947         |
| 11/6  | 水    | 2,652   | 11/19 | 火   | 休館日           |
| 11/7  | 木    | 2,555   | 11/20 | 水   | 5,316         |
| 11/8  | 金    | 3,411   | 11/21 | 木   | 5,277         |
| 11/9  | 土    | 3,572   | 11/22 | 金   | 4,567         |
| 11/10 | 日    | 3,612   | 11/23 | 土・祝 | 6,715         |
| 11/11 | 月    | 3,240   | 11/24 | 日   | 7,118         |
| 11/12 | 火    | 休館日     | 計     |     | 103,722       |

※10/31は出陳者内覧会

## 巡回日展

改組新 第5回展分を3会場、改組新 第6回展分を3会場、計6会場で開催。

|             | 開催地   | 開催期間  | 会場                                  | 開催者         | 入場者数(人) |
|-------------|-------|---|-------------------------------------|-------------|---------|
| 改組新<br>第5回展 | 富 山   | H31. 4. 20～R元. 5. 6                             | 富 山 県 民 会 館 美 術 館                   | 北 日 本 新 聞 社 | 22,533  |
|             | 大 阪   | R元. 6. 1～ 6. 30                                 | 大 阪 市 立 美 術 館                       | 日展大阪展実行委員会  | 39,994  |
|             | 岡 山   | 7. 6～ 7. 28                                     | 岡 山 県 立 美 術 館<br>岡山県天神山文化プラザ        | 山 陽 新 聞 社   | 20,057  |
| 改組新<br>第6回展 | 京 都   | R元. 12. 14～R 2. 1. 11                           | 京 都 市 美 術 館 別 館<br>みやこめっせ・日図デザイン博物館 | 日展京都展実行委員会  | 25,336  |
|             | 名 古 屋 | R 2. 1. 29～ 2. 16                               | 愛知県美術館ギャラリー                         | 中 日 新 聞 社   | 37,266  |
|             | 大 阪   | 2. 22～ 3. 22<br>新型コロナウイルス感染症<br>拡大防止のため、2. 28閉会 | 大 阪 市 立 美 術 館                       | 日展大阪展実行委員会  | 24,792  |

## 12 美術に関する講演会及び講習会の開催

### 講演会・シンポジウム・映像による作品解説等

専門的・客観的視点でのテーマを設けた講演会や、各科独自にシンポジウム形式の討論会を行うほか、日展作家が映像を使って出品作品をわかりやすく解説する。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館 3階 講堂(入場無料)

|                 |                                       |   |
|-----------------|---------------------------------------|---|
| 11月2日<br>(土)    | (日本画)<br>午後<br>1:30～3:30<br>※途中10分休憩  | 映像による作品解説「自作を語る」 今年度受賞者<br>山下保子・中村 徹・諸星美喜<br>特選10名<br>(司会)伊東正次 (進行)東 俊行<br>座談会 今年度審査員・新入選者<br>中村 徹・西田真人・能島浜江・川嶋 渉<br>福田千恵(特別参加)<br>乙部 亮・金澤翔平・河井眞里枝・酒井美雪<br>長野初美・藤田麻知世・向井菜摘・山元宏将<br>(司会)亀山祐介 (進行)東 俊行                |
| 11月4日<br>(月・振)  | (洋画)<br>午後<br>1:30～3:30<br>※途中10分休憩   | 座談会 今年度審査員・受賞者・新入選者<br>中山忠彦・笠井誠一・瀧 悌三<br>町田博文・大友義博<br>佐渡一清・根岸亮子<br>(司会)寺久保文宣<br>鼎談「日展洋画を語る」<br>中山忠彦・笠井誠一・瀧 悌三<br>町田博文・大友義博<br>(司会)寺久保文宣   |
| 11月8日<br>(金)    | 午後<br>1:00～2:30                       | (特別講演会)「美の心 茶の心」<br>裏千家15代 前家元 千 玄室 氏   |
| 11月9日<br>(土)    | (彫刻)<br>午後<br>1:30～3:30<br>※途中10分休憩   | シンポジウムによる討論会「彫刻を語る」 工藤 潔・早川高師・岡本和弘<br>安田陽子・境野里香・加山総子<br>(司会)櫻井真理<br>映像による作品解説「彫刻」<br>竹谷邦夫・徳安和博・阿部鉄太郎<br>(司会)櫻井真理  |
| 11月16日<br>(土)   | (工芸美術)<br>午後<br>1:30～3:30<br>※途中10分休憩 | 座談会「日展の工芸美術はこんなにおもしろい」<br>今年度審査員・受賞者・新入選者<br>武腰敏昭・三田村有純・河合徳夫・橋本昇三<br>志観寺範従・桑原紀子・田中紀子・山本 清<br>吉水絹代・安藤タヅ子・浅井啓介・竹森公男<br>加藤丈尋・武田 司・鶴見晋史・福富 信<br>森 克徳・川瀬修平・高嶋幸広・田村美恵子<br>三田村有芳<br>(司会)大樋年雄・中村武郎・佐治ヒロシ<br>(総合司会)藤田 仁・林 香君 |
| 11月23日<br>(土・祝) | (書)<br>午後<br>1:30～3:30<br>※途中10分休憩    | シンポジウムによる討論会「日展の書」<br>西村東軒・佐々木宏遠・吉川美恵子・和中簡堂<br>(司会)土橋靖子<br>映像による作品解説「書」 吉澤鐵之・田頭一舟・岡野楠亭<br>(司会)牛窪梧十  |

※総参加人数 1,364名

(6日間 特別講演1回、座談会3回、シンポジウムによる討論会2回、作品解説3回、鼎談1回)

## らくらく鑑賞会

出品作家達とゆっくり全科のダイジェストを鑑賞する。自己紹介から始まり、昼食や休憩などはさみながら、鑑賞者が、作家、作品と一歩近づいて、展覧会を楽しむ。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

|               | 日本画      | 洋画       | 彫刻       | 昼食       | 書       | 工芸美術    |
|---------------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|
|               | 午前10:45～ | 午前11:30～ | 午後12:15～ | 午後12:50～ | 午後2:00～ | 午後2:45～ |
| 11月6日<br>(水)  | 加藤 晋     | 浅見文紀     | 間島博徳     |          | 田中節山    | 木下五郎    |
| 11月11日<br>(月) | 由里本 出    | 伊藤晴子     | 宇津孝志     |          | 伊藤一翔    | 田中照一    |
| 11月18日<br>(月) | 山田 毅     | 高梨芳実     | 江里敏明     |          | 中路佳保里   | 司辻光男    |

◆参加人数・・・21名（会期中の3日間、全3回）

○上記プログラムの他に、団体との共同企画により以下の日程で鑑賞会を実施した。

主催 全日空社友会 公益社団法人 日展

場所 国立新美術館(日展会場)

|               | 午前10:30～      | 午前11:15～     | 午後12:00～ | 午後1:10～ |
|---------------|---------------|--------------|----------|---------|
| 11月16日<br>(土) | 池内璋美<br>(日本画) | 丸山 勉<br>(洋画) | 昼食       | (自由鑑賞)  |
| 11月21日<br>(木) | 米倉正美<br>(日本画) | 小灘一紀<br>(洋画) | 昼食       | (自由鑑賞)  |

※総参加人数 25名

## ミニ解説会

一人からでも解説が受けられる。来館時、好きな部門に申し込みをすれば、少人数の解説会に参加できる。

開催日程 改組 新 第6回日展会期中の平日（土・日・祝日・初日、11月15日を除く）

午後1時30分～ 30分程度。

定員 各部門20名（5部門）

◆参加人数・・・593名参加（10日間）

## 13 美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催

### わくわくワークショップ

日展鑑賞を通じて“親子で一緒に感じる、考える、話す”時間を持ち、作品との出会い、発見などの体験を共有する。素材体験から鑑賞まで。

主催 国立新美術館 公益社団法人 日展  
場所 国立新美術館 3階 講堂・研修室 各科陳列会場

|               |              | 指 導 者                 |   |   |   |                      |
|---------------|--------------|-----------------------|---|---|---|----------------------|
|               |              | 日本画                   | 洋 画   | 彫 刻   | 工芸美術  | 書                    |
| 11月3日<br>(日)  | 午前<br>10:30～ | 能島浜江<br>野田夕希<br>安田敦夫  | 天野富美男<br>桑原富一<br>西山松生<br>渡邊 明<br>小川満章         |   |   | 井上清雅<br>河西樸堂<br>吉澤劉石 |
|               | 午後<br>2:00～  |                       |   | 堀尾秀樹<br>野原昌代<br>吉岡 徹<br>堀内有子<br>二塚佳永子<br>高野眞吾<br>(サポート)<br>山田朝彦<br>山崎茂樹<br>石黒光二 | 曾根洋司<br>前田和伸<br>安藤 工<br>杉原外喜子<br>林 香君<br>(サポート)<br>中村基克<br>福富 信 |                      |
| 11月10日<br>(日) | 午前<br>10:30～ | 亀山祐介<br>北斗一守<br>長谷川雅也 | 井上 武<br>菊池元男<br>前原喜好<br>星川登美子<br>佐藤祐治<br>稲葉徹應 |   |   | 大澤城山<br>稲村龍谷<br>寺岡棠舟 |
|               | 午後<br>2:00～  |                       |   | 堀内秀雄<br>寺山三佳<br>中原篤徳<br>上田ふみ<br>鈴木紹陶武<br>宮坂慎司<br>(サポート)<br>山田朝彦<br>山崎茂樹<br>石黒光二 | 佐藤好昭<br>渡辺洋子<br>栗本雅子<br>小田謙二                                    |                      |
| 11月17日<br>(日) | 午前<br>10:30～ | 川田恭子<br>岩田壮平<br>古澤洋子  | 田辺知治<br>栗原高光<br>倉林愛二郎<br>久保博孝<br>中島健太         |   |   |                      |
|               | 午後<br>2:00～  |                       |   | 原田治展<br>中村優子<br>廣川政和<br>安田陽子<br>小関良太<br>前芝武史<br>(サポート)<br>山田朝彦<br>山崎茂樹<br>石黒光二  | 角 康二<br>高名秀人光<br>山元健司<br>村田好謙<br>川口 満<br>(サポート)<br>青木宏憧         | 植松龍祥<br>野田杏苑<br>岩村節廬 |

◎総参加人数 117 組 299 名

## 夏休み1日ART体験「第15回 Oneday Art」

「作品をつくる」体験をし、作品や作家とのかかわりを通して多様な世界観を学んでほしい—という日展の芸術文化普及活動。

制作した作品は鑑賞プロジェクトチームの指導のもとに陳列、8月17日から8月21日まで日展会館において展示した。参加者以外にも一般の鑑賞者、日展会員などたくさんの方が訪れた。

※共同制作の作品は、この他、日展会場、パブリックスペースでも展示。

主催 公益社団法人 日展

後援 台東区教育委員会 荒川区教育委員会

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 「子どもゆめ基金助成活動」

場所 日展会館・イベントスペース 他

|              |             | 指導作家  | 時間                  | 参加人数       | 内 容  |
|--------------|-------------|---|---------------------|------------|--|
| 7月26日<br>(金) | 洋画          | 田辺知治<br>大友義博<br>桑原富一<br>佐藤祐治<br>佐藤龍人<br>星川登美子<br>中島健太<br>茅野吉孝             | 10:00<br>～<br>15:00 | 17組<br>29名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『3原色で描いてみよう』（油彩・水彩）</li> <li>●油彩画の特徴 油絵具の使い方を学ぶ。</li> <li>●作家のデモンストレーション</li> <li>●描きたいモチーフを選ぶ。F4 のキャンバスを使い、静物（ぬいぐるみや植物とともに金属質のものを組み合わせたモチーフ）を木炭でスケッチ。</li> <li>●油彩で着色。3原色から色を作っていく。</li> <li>●水彩で15cm四方の紙に動物のオリンピックを想像して描く。</li> <li>●描きあがった作品にサインを入れる。</li> <li>●額に入れてみる。講評。片付け。</li> </ul>                                    |
| 7月27日<br>(土) | 工芸美術<br>(陶) | 林 香君<br>南雲龍比古<br>福富 信<br>村田真樹<br>(サポート)<br>水谷俊雄 村山恵子<br>井上英基 高橋和則<br>村越郁夫 | 10:00<br>～<br>12:00 | 21組<br>35名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『虹の七色土で海をテーマに熱帯魚を作ってみよう』</li> <li>●作家のデモンストレーションで陶芸に関する基礎知識を学ぶ。</li> <li>●カラーの粘土を使用。基本的な技法を学びながら造形。参考作品を見て、出来上りをイメージ。</li> <li>●各自で制作。</li> <li>●共同制作の、五輪を創るための花を各自1個ずつ作る。</li> <li>●講評、仕上げについての説明、片付け。</li> <li>●作品は、(後日)乾燥後、焼成。担当作家による仕上げ、最終チェック。</li> </ul>   |
|              | 工芸美術<br>(陶) | ※AM と同  | 13:30<br>～<br>15:30 | 18組<br>32名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『虹の七色土で陸をテーマに動物を作ってみよう』</li> <li>●作家のデモンストレーションで陶芸に関する基礎知識を学ぶ。</li> <li>●カラーの粘土を使用。基本的な技法を学びながら造形。参考作品を見て、出来上りをイメージ。</li> <li>●各自で制作。</li> <li>●共同制作の、五輪を創るための花を各自1個ずつ作る。</li> <li>●講評、仕上げについての説明、片付け。</li> <li>●作品は、(後日)乾燥後、焼成。担当作家による仕上げ、最終チェック。</li> </ul>  |
| 7月28日<br>(日) | 工芸美術<br>(染) | 安藤タヅ子<br>石原真理<br>平林芳子<br>相武常雄<br>月岡裕二<br>(サポート)<br>鈴木葉子 山本恭子              | 13:00<br>～<br>16:00 | 20組<br>34名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『友禅を染めてみよう！』</li> <li>●染に関する基礎知識。染の特徴(種類・性質)と工程を知る。</li> <li>●共同制作の糸目が引かれている布に自由に色を挿す。</li> <li>●共同制作を乾かして蒸す間、各自用意してきたデザイン画を元に青花ペンで布に写し、着色する。共同制作と同様に乾かして蒸す。</li> <li>●水洗いをして仕上げ。</li> <li>●講評、片付け。</li> <li>●作品は、担当作家による仕上げ、額装。</li> </ul>  |
| 8月3日<br>(土)  | 日本画         | 亀山祐介<br>川田恭子<br>能島浜江<br>岩田壮平<br>米谷清和<br>(サポート)<br>野田夕希<br>安田敦夫            | 11:00<br>～<br>16:30 | 20組<br>40名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『キラキラ姫屏風で昔の絵師に挑戦！』</li> <li>ー小さな4曲屏風に描いて飾ってみようー</li> <li>●作品例を見せながら日本画の特徴を説明。</li> <li>画材(岩絵具や麻紙)や、日本画の基本的な技法や掛け軸の構造に関する知識を学ぶ。</li> <li>●金か銀の屏風を使用。制作の工程を説明。</li> <li>作家のデモンストレーション</li> <li>●各自用意してきたデザイン画を元に岩絵具などで描いた後、乾かす。</li> <li>●アクセントをつけたい箇所に筆で膠をひき、砂子をまく。半紙で押えて乾かす。</li> <li>●共同制作のパネルに描く。</li> <li>●講評。片付け。</li> </ul> |

|             |    |  |                     |            |   |
|-------------|----|--|---------------------|------------|---|
| 8月4日<br>(日) | 彫刻 | 石黒光二<br>中原篤徳<br>野原昌代<br>堀内秀雄<br>山崎茂樹<br>(サポート)<br>原田治展 中村優子<br>村山 哲 堀尾秀樹<br>吉岡 徹 堀内有子<br>寺山三佳 安田陽子<br>廣川政和 加山総子<br>鈴木紹陶武<br>(オブザーバー)<br>山田朝彦 | 13:00<br>～<br>16:00 | 23組<br>40名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『夢の世界』</li> <li>●彫刻に関する基礎知識を学ぶ。</li> <li>●(子供)<br/>木の土台とアルミ線、紙粘土による制作<br/>台座の上にアルミ線でイメージした形の心棒を作る。</li> <li>●心棒に紙粘土で肉付けしていく。</li> <li>●イメージに合った土台を組み合わせ、紙粘土の人物や動物、イメージを形にしたものをジョイントさせる。</li> <li>●共同制作のメダルに模様を入れる。</li> <li>●講評。片付け。</li> <li>●(中学生・保護者)<br/>テラコッタで頭像を作る。<br/>作品は、乾燥させた後、焼成する。</li> </ul> |
| 8月5日<br>(月) | 書  | 井上清雅<br>師田久子<br>綿引滔天<br>高木聖雨<br>高木厚人<br>永守蒼穹<br>(サポート)<br>市川奈々 伊能柳華<br>尾花太虚 角田大塚<br>加藤文菜 齊藤真澄<br>永田 瞬 滑田耀齋<br>萩原寛大 松浦龍坡<br>安島可奈子             | 13:00<br>～<br>16:00 | 21組<br>33名 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『毛筆文字に親しもう!』</li> <li>●書に関する基礎知識を学ぶ。<br/>グループ分けし、それぞれの工程を時間差で体験する。</li> <li>●ハガキ大に好きな文字を書き、ラミネート加工する。</li> <li>●団扇に好きな文字を書く。色々な書体で書いてみる。</li> <li>●自分の印を彫り、押印して作品を完成させる。</li> <li>●墨作り職人の実演。練った墨玉を握って、握り墨を体験。</li> <li>●講評。片付け。</li> </ul>  |

| 実施内容(共同制作)                      |   |
|---------------------------------|---|
| ※1500×850mm1枚もしくは750×850mm2枚パネル |   |
| 日本画                             | 『街にオリンピックがやってきた!』<br>「やってみたい! 見てみたい!」競技を描いてみよう!<br>●担当作家が描いたバックに、各自用意したデザイン画を元に描いていく。             |
| 洋画                              | 『動物オリンピック』<br>●作家が描いた背景に、想像したオリンピックの競技をしている動物を描いたものを貼っていく。  |
| 彫刻                              | 『僕と私の金メダル』<br>●金メダルをデザインし、テラコッタ粘土で造形したものを焼成、金で着色し、パネルに取り付ける。                                      |
| 工芸美術<br>(陶)<br>(染)              | 『陸と海のオリンピック』<br>●カラー粘土で花を作る。五輪をかたどってパネルに貼り仕上げる。(陶)<br>●友禅染技法で、海の生き物を染めてみる。作家が染めた布を背景に、貼り込んでいく。(染) |
| 書                               | 『手書き文字バンザイ!!』<br>●ハガキ大の半紙に好きな文字を書き、切手シートにする (後日→パブリックスペース陳列用)                                     |

◎総参加人数 140組 243名

## 14 研究冊子及び図書の刊行

### 出版企画実施内容（令和元年度中に刊行または印刷）

#### 改組 新 第6回日展目録

- [判 型] B5判（タテ18.2cm×ヨコ25.8cm）72頁  
[発行日] 令和元年11月1日  
[発行部数] 3,500部  
[定 価] 100円 [税込]  
[内 容] 東京会場全陳列作品題名および作家名・現住都道府県名を掲載  
授賞理由、展示早見表など諸資料掲載  
[表 紙] 奥田小由女  
[製 作] 株式会社新協

#### 改組 新 第6回日展作品集

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）148頁 606点掲載  
[発行日] 令和元年11月1日  
[発行部数] 4,300部  
[定 価] 3,000円 [税込]  
[内 容] 全会員・審査員・受賞者の出品作品をオールカラーで収録  
諸資料掲載  
別冊資料：作家本人による作品解説・釈文(書)掲載 40頁  
[表 紙] 福田千恵・中山忠彦・山本眞輔・伊藤裕司・井茂圭洞（出品作・部分）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第6回日展図録（日本画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）72頁 309点掲載  
[発行日] 令和元年11月6日  
[発行部数] 1,800部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 日本画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名付）、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 福田千恵（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

#### 改組 新 第6回日展図録（洋画）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）136頁 653点掲載  
[発行日] 令和元年11月6日  
[発行部数] 3,400部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 洋画部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名付）、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 中山忠彦（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

改組 新 第6回日展図録（彫刻）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）66頁 243点掲載  
[発行日] 令和元年11月6日  
[発行部数] 700部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 彫刻部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名付）、  
作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 山本眞輔（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

改組 新 第6回日展図録（工芸美術）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）116頁 551点掲載  
[発行日] 令和元年11月6日  
[発行部数] 1,500部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 工芸美術部門の全陳列作品をオールカラーで収録、作家名・作品題名（読み仮名  
付）、作品寸法、技法表記、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 伊藤裕司（出品作）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社

改組 新 第6回日展図録（書）

- [判 型] A4判変型（タテ29.7cm×ヨコ22cm）208頁 カラー181点、モノクロ1,030点、  
合計1,211点掲載  
[発行日] 令和元年11月6日  
[発行部数] 3,500部  
[定 価] 3,200円 [税込]  
[内 容] 書部門の全陳列作品を全会員・審査員・てん刻はカラー、他はモノクロで収録  
作家名・作品題名（読み仮名付）、作品寸法、審査所感、諸資料掲載  
[表 紙] 井茂圭洞（出品作）  
[製 作] 富士美術印刷株式会社

絵はがき（オフセット印刷）

- [判 型] はがきサイズ（10.5cm×15cm）  
[定 価] 400枚単位—24,000円[税込]（売店販売定価1枚—100円[税込]）  
[製 作] ニューカラー写真印刷株式会社、半七写真印刷工業株式会社、富士美術印刷株式  
会社

カラー写真

- [判 型] 2Eサイズ（10.7cm×15.3cm）  
[定 価] 10枚単位—6,000円[税込]（売店販売定価1枚—350円[税込]）  
[製 作] 株式会社アートデザインセンター

日展ニュースの発行

|       |             |      |         |
|-------|-------------|------|---------|
| 第172号 | 令和元年6月27日発行 | 発行部数 | 21,000部 |
| 第173号 | 令和元年9月26日発行 | 発行部数 | 38,000部 |
| 第174号 | 令和2年1月30日発行 | 発行部数 | 21,000部 |

## 15 美術に関する研究及び調査

### 日展会館・日展新会館企画実施内容

#### [会館スペースの貸出し]

展覧会場や会議・研究会の場として、会館スペースの貸出しを行った。

#### (展覧会)

| 名 称                                     | 展 示 内 容                      | 開 催 期 間              | 会 場   |
|---|------------------------------|----------------------|-------|
| 第8回爽創会彫刻展                               | 彫刻作品                         | 平成31年<br>4月19日～4月23日 | 日展新会館 |
| 第12回プラチナアート大賞展<br>2019                  | 平面作品(日本画・油彩・<br>水彩・版画・パステル等) | 令和元年<br>5月10日～5月13日  | 日展新会館 |
| 碧い眼の書道家たち展                              | 書作品                          | 7月8日～7月15日           | 日展新会館 |
| 第38回DAAJ展                               | 洋画、陶芸作品等                     | 9月12日～9月16日          | 日展会館  |
| 古筆を学ぶ五人展                                | 書作品                          | 9月20日～9月23日          | 日展新会館 |
| 第31回JGS<br>ボタニカルアート展                    | ボタニカルアートの絵画<br>作品            | 9月26日～9月28日          | 日展会館  |
| ART-Pal 2019@谷中                         | 絵画、手工芸作品等                    | 9月28日～9月29日          | 日展新会館 |
| 慶應義塾中等部 美術部<br>OB・OG・現役展                | 絵画作品                         | 12月5日～12月8日          | 日展新会館 |
| 秋草学園高等学校美術部<br>第4回鈴華展                   | 絵画作品等                        | 12月20日～12月22日        | 日展新会館 |
| 株式会社日福文化刺繍展                             | 刺繍作品等                        | 令和2年<br>1月13日～1月19日  | 日展新会館 |
| 女子美術大学<br>メディア表現領域<br>卒業制作展「BELLY BANG」 | 映像作品等                        | 2月15日～2月17日          | 日展新会館 |
| 第27回漆の美展                                | 漆作品                          | 3月3日～3月8日            | 日展新会館 |

(会議・研究会・教室等 使用団体)

藍の会  
池袋絵画研究会  
一般社団法人 現代工芸美術家協会  
一般社団法人 新極美術協会  
芥子園研究会  
寒玉書道会  
現代水墨画協会  
公益社団法人 日本新工芸家連盟 関東地区会  
公益社団法人 日本彫刻会  
秀彩会  
新日春会  
新日本美術協会  
全国水墨画美術協会  
蒼騎会  
太陽美術協会  
朝聞書会  
東京地区合同研究会  
東陶会  
白日会  
蒔絵の会

(令和元年度会館スペース貸出収入) \*金額は税込  
合計 2,456,500円 前年度比 -317,550円

[自主企画展]

会館スペースを利用し、自主企画展(入場無料)を開催。

| 名 称                  | 展 示 内 容                                    | 開催期間・会場                              | 入場者数(人) |
|----------------------|--|--------------------------------------|---------|
| 第15回Oneday Art 作品発表会 | ワンデイアート参加者の<br>制作による日本画・洋画・<br>彫刻・工芸美術・書作品 | 令和元年<br>8月17日～8月21日<br>日展会館<br>日展新会館 | 378     |